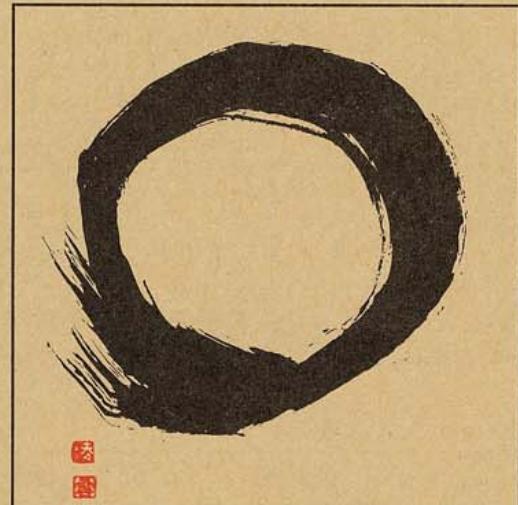


オクソノ俱楽部

謹賀新年

2001年新春号



松源院

「青いターべんの少女」

宗 健

フェルメール

「青いターべんの少女」

宗 健

大きな青いターべんを巻いた、白皙にほのかなピンクのまざつた幼い顔に、大きく見開かれた瞳がこちらを見つめる。少し口もとのあいた、赤い豊かな唇が示しているように、そこには何のかまえもなく、そつと顔を斜めに向けただけの、無心で清純な心が漂う。

抜け切つた青空のように一点のくもりもなく、磨き抜かれた鏡の清冽な美しさも見せていく。

人間はこうも美しい眼を、持っていたのであるうか。眼は心の鏡、と言ふけれども、その鏡を深淵をのぞき込む思いで見つめると、底知れぬ神秘的な湖沼のような静謐さがある。

黒く塗り潰された背景もまた、人間の見知らぬ世界を表現する。少女の幼じみた顔や、青いターべんの上から肩

まで垂れ下がつた黄土色の布、同色系統の衣服のものとある分別心を殺し尽くし、自己を全否定してこの自己とは、本来「無いものである、空である」と言うことをは

立ち現われた。闇の中に小さく輝く耳飾りの真珠が、そのことを象徴し、強調している。少女は永遠の世界から誕生したヴィーナスだ。

二十世紀は欲望と享樂の巷であった。「牡丹一

黒い闇とは、己れの迷いのもとである分別心を殺し尽くし、自己を全否定してこの自己とは、本来「無いものである、空である」と言うことをは立ち現われた。闇の中に小さく輝く耳飾りの真珠が、そのことを象徴し、強調している。少女は永遠の世界から誕生したヴィーナスだ。

そこでは、自分が「少女」そのものになり切つて、あの汚れなき瞳、く戻るのである。

現在、奈良県松源院在住。

日の紅、満城の公子酔う」と南宋時代の禅僧石田は歌つたが、みな牡丹と言ふ浮雲の富貴に、うつづを抜かし酔つていたのだ。

二十一世紀は各々の心の鏡に付着した垢を拭い去らねばならぬ時代となる。「青いターべんの少女」を、わが娘とするのだ。

その為にはどうしても一度、あの黒い闇の世界をくぐり抜けねばならぬ。

祖に会えば祖を殺し、佛に会えば佛を殺す底の、汝自身の中の謀臣猛将出でよ。

そして、美しき善きものを見よ。

「青いターべんの少女」の如き美しき花で、この世を満たせよ。

2001年は1月5日より営業致しております



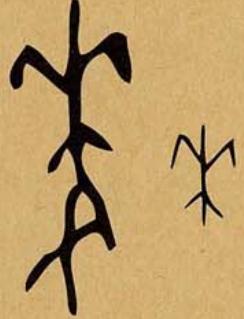
室号 凌雲室 号玉堂。

泉田宗健 氏
プロフィール

新世紀への誕生

それは一粒の麦から始まった

チグリス河とユーフラテス河の源流、トルコ・アナトリア高原に、チャイヌ遺跡があります。3000年前、人々はここで定住して狩猟や木の実を採取し、暮らしていました。



ムギは中国に紀元前二千年頃、中央アジアを経て伝播。最初「米」と記されていた。『遠くから来た穀物』の意やムギを表わす名詞と「来る」いう動詞が中国語では、同じ発音の言葉だったという説がある。今の一「麥」は下部に人足の象形文字「又」を加えた字形。「足」を加えたのは、ムギの麦踏みからの由来。

日本人の食の原点の米

イネの原産地はインド・アッサム州から中国南部・雲南省が定説でしたが、七千年前の新石器時代遺跡「河姆渡遺跡・浙江省」から世界最古の稻作遺跡が発見されました。

イネは中国南部、朝鮮半島を経て二千五百年前の縄文時代後期には北部九州に渡来。佐賀県唐津市の菜畑遺跡等を経て本格的な稻作が日本中に広まりました。この稻作により、多くの人口を安定して養う事ができるようになり、村から古代国家へと発展。「瑞穂の国」という弥生時代の稻作農耕文化が繁栄しました。

日本の風土は米作りにより育まれたと想います。武士の登場で水田の大開墾時代が始まり、米の収穫高で藩の勢力が決まる等、日本では江戸時代まで大名の領地は「加賀百万石」というように、その地から採れる米の量で広さ（価値）が示され、ちなみに、一石は約150kgです。

軽輩の給料は「九人扶持」等、給料を一日に米五合を買うことのできる金額で表わしていました。古代インドには麦の粒「麦」という最小の単位を表わす長さがあり「七麦」が「一指節」でした。イネは現在約千種類ありますが、ジャポニカ・日本型とインデティック・インド型に大別されており、胚乳の性質で粳と糯米に分類されています。

米が社会の土台になつていた時代から、現在のハイテク技術による遺伝子組み換えの穀物作りや主食の米の需要の変化等、21世紀の主食となる穀物「米と麦」を改めて、みづめたいと思います。

古代中国の甲骨文字の「米」
この字はイネの実だけの意味ではなく、穀物を脱穀した穀粒の総称として使われる文字

五穀熟して民人育て
五穀は稻・麥・稷・麦・菽を
謂うなり

「漢字と食文化」より抜粋

ご飯1杯分150g（精白米）の栄養価		
エネルギー	222Kcal	体や体の組織を動かす
糖質	47.6g	炭水化物に含まれるエネルギー源
たんぱく質	3.9g	血や肉、細胞など体の基本をつくる
脂質	0.75g	脂肪に含まれるエネルギー源
ビタミンB1	0.05mg	体の調子を整え、夏バテを防止する
ビタミンB2	0.02mg	体の調子を整え、美肌をつくる
ビタミンE	0.3mg	体内の細胞や血管の若さを保つ
カルシウム	3mg	骨や歯をじょうぶにする
鉄	0.15mg	血液のもと。不足すると貧血に
マグネシウム	6mg	肩こりや動脈硬化を防ぐ
亜鉛	810ug	皮膚の再生を助ける
植物繊維	0.6g	便秘やガン、成人病を防ぐ

1

の小冊子を

の小冊子を參

たもの。
「清淨なる飯」

中国では穀物としてのイネを
大米、粟を小米、トウモロコシ
を玉米と書く。

精米したてが一番おいしい。
精米日を確かめて貰いましょう
JAS法に基づき平成13年4月から精米日表示が明記
密閉容器に入れて酸化を防ぐ。
お米の鮮度が落ちると、米粒が粉を吹きます
保存容器は米を使いきり、洗い乾燥させてから入れる
置場所は風通しのよい冷暗所
湿度一定、温度15℃以下で貯蔵
残つたご飯は上手に保存を
炊飯ジャー保温は5時間が限度冷蔵庫の保存は
2日位まで、おいしさを保つには冷凍保存

に似せたとしれています

おいしいご飯を！

スサのビーカー[BC4000年] 高さ26.4cm

a grain of wheat 一粒の麦

他者のために自己を犠牲にする人をさすことば
新約聖書
「ヨハネによる福音書」

元々の意味	元来の 絵文字	位置の変わ った絵文字	古拙文字	初期のバビ ロニア文字	アッシリヤ 文 字	音値
エンマ小麦		主线	：	：	ニ	ZIZ ₂
大麦	↓↓	→→→	↖↖↖	↖↖↖	↖↖↖	SE

シリアル Ceres 「穀物」はローマ神話の「穀物と豊饒の女神」セレス Ceres に由来します。

BC5000年頃に、南の海から渡來したキエンキ族（故地は北インド）のシュメール人は葦の生い茂るメソポタミア南部に定着しウルク文化期、又は、シュメール文明を誕生させました。資源は殆どなかったのですが、ただ、シュメール人は麦をかなり大量に収穫していた事が最古の遺跡都市ウルの遺跡から、粘土板に書き残した楔形文字の解説により裏付けられました。穀物を大量に収穫・備蓄できた事が、すぐれた建造物や美術品だけでなく、現代に繋がる様々な知恵や社会の仕組（天文・数学・法律）を生み出しました。しかし、BC2004年ウル王朝はエラム人に滅ぼされ、海を渡ってメソポタミアの地から消えます。その後の部族の行方は謎ですが、シュメール王朝のバビロン・イシュタル門の十六菊花紋の謎や仏教伝来以前から、口述伝承の祝詞の神々や天皇を尊称した言葉の類似から、日本人の先祖説があります。「消えたシュメール人の謎」岩田 明著書より

小麦が人をつくった

ヨーロッパの詩

餅 (パン) **類や麺類**
中国ではBC6千年頃、小麦粉のドウをさまざまに加工。日本には、平安時代までに唐から穀物の粉を使った唐菓子が伝来。うどんは唐菓子の一つの「混沌」に由来。鎌倉時代の禅僧により索麵、今の「素麺」が伝来。

「さつた小麦粉」に由来します。トウルスキ人でラザーニヤを大量に生産していく事がチエルヴエテリの町、トンバ・ティ・リエーヴイ遺跡より立証。
マカロニの製法は7世紀頃、アラブ人がシチリアを統治下においていた時代に、この地に伝えられた説とマルコ・ポーロが中国からの帰り、シチリア島に立ち寄り、そこで伝わった説など。
12世紀のイタリア南部で盛んに作られた、マカロニの製法は15世紀初ナポリで大流行。

古代エジプト・新石器時代末には、発酵パンが作られており（エル・バダリ新石器時代の遺構より）ピラミッドの壁画には、パン型に蓋をして焼く方法や「かまど」が描かれています。パンは単にエネルギーを補給し食事を楽しむだけの物ではなく、聖牛に与えられたり、軽く焼かれたパンはビール造りの原料に。さまざまなかみ合物を混ぜて医療用のパンも作られました。エジプトの庶民は大麦を原料としたパン（キレスティス）を常食していた事をヘロドトス（BC五年ギリシャの歴史家）が記録。「エジプト人はパン食い人」と呼ばれ、パンは古代エジプトで始まった「古代最高の加工食品」です。

〔ファラオの食卓〕吉村作治著書を参考

麦の加工食品

オクソン・久壺庵では、無農薬・有機栽培の野菜と果物、減農薬栽培の米、平飼い自然卵 や低温殺菌の
パスチャライズ牛乳等、農水省の規定JASを充たす品質と自然な味わいの食材を使用しております。

